

河川シミュレーションソフト iRIC 講習会 開催報告書

富山県後援事業

1. 概要

開催日時	2022年11月17日(水)	10:00~15:20
開催場所	NiX ビル1階大ホール	
参加者	12名	

2. プログラム

10:00~10:10	開会あいさつ
10:10~11:00	iRICの概要、地形データの作成・読み込み
11:10~12:10	モデル構築、境界条件・入力条件の設定、解析の実施
13:00~14:00	計算結果の出力(可視化)方法、計算結果のキャリブレーション方法
14:10~15:10	実習
15:20	閉会

講師：富山大学都市デザイン学部 教授 木村 一郎 氏

3. 開催概要

講習会は、iRICの成り立ち・現在の普及活動の紹介から始まり、木村教授が出版した書籍「iRICによる河川シミュレーション」に基づき、富山県内の白岩川という実際の河川を対象として、モデル作りから解析までの一連の流れについて、初心者にも分かり易い内容で講義いただいた。

本講習会は富山県との連携事業の第1弾として富山県のご後援をいただき、技術者の技術研鑽に寄与する取組みとして実施した。県内外の建設コンサルタント会社の技術者の参加が見られ、有意義な講習会となった。

今回は、多々あるソルバーの中で「Nays2D Flood」に関する講習であったが、その他にも、河床変動・土石流・津波の計算を実行できるソルバーがあるため、定期的な講習会実施・地方自治体職員の参加拡大を計画・企画したいところである。



写真1 講習会の風景

4. 参加者アンケート結果（回答者 7 名）

（1）参加者の状況

20～30 代の参加者が全体の約 57%と若手技術者の参加が多く見られた。

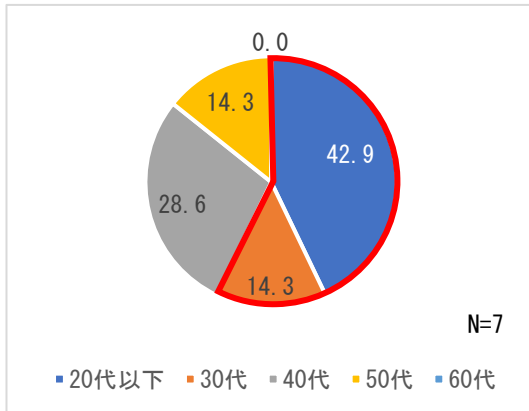


図 1 アンケート回答年代

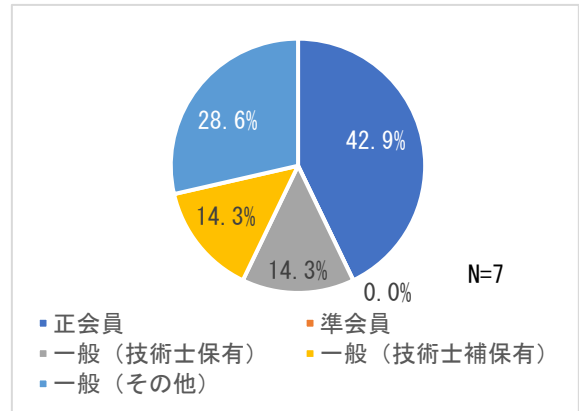


図 2 参加者の入会状況

（2）講演会参加のきっかけと動機

講演会参加のきっかけは「知人、会社関係者からの紹介」が最も多く、参加の動機としては「講演会のテーマに興味があった」、「仕事上に役立てたい」が多く見られ、業務に直結する技術研鑽としての参加が伺える。

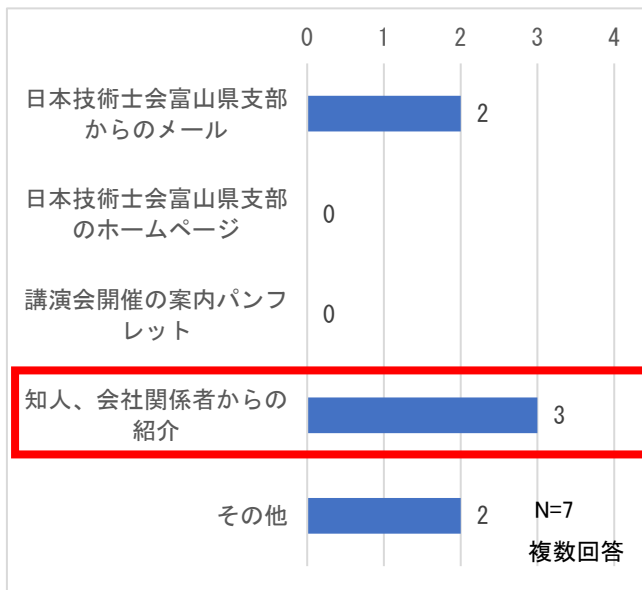


図 3 参加のきっかけ

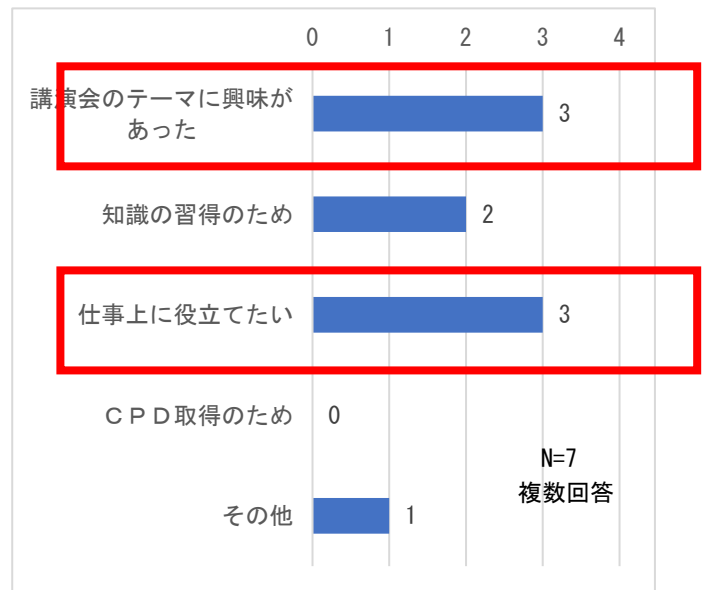
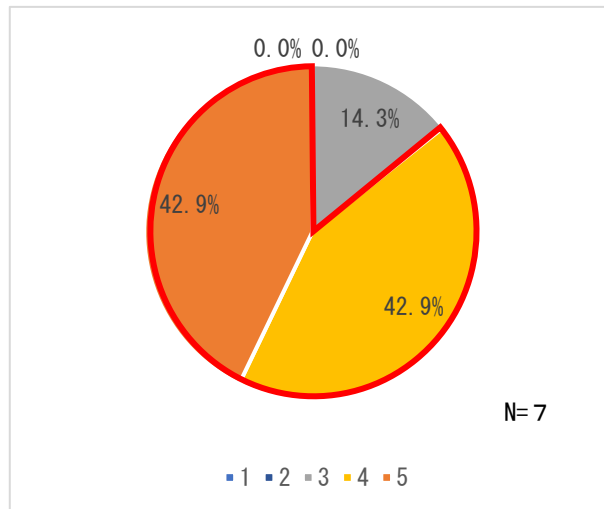


図 4 参加の動機

(3) 参加者の満足度

講演会の満足度は4点以上が約85%と総じて高かった。平均点が4.29点であった。



(4) 具体的な評価に関する意見

40代	iRICの操作だけでなく、モデル化する上での注意点も解説頂けてよかった。
50代	数少ないiRICに関する講習会を直接木村先生から講義頂けて良かったです。
50代	良かった点：木村先生から直接講義頂けたこと。残念だった点：流量データ作成に半日を要しiRICそのものの講義時間が割かれてしまったこと。
40代	データ入力等を行いながら説明されていたので、聞きそびれた点があったと思う。出来れば、データ入力と説明を分けて時間を設けてほしかった。
20代	非常に講義時間が短いと感じた。教科書通りの作業だけでなく、活用例や納品事例など、実際の業務に参考になる内容についてもっと知りたかった。
40代	Web形式でもお願いできるとありがたい。
40代	iRICの別のソルバーについても解説いただけるとありがたい。河床変動や3次元計算など。